

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日：令和4年 1月 日

事業所名：おりぶ瑞ヶ丘

サービス種類：放課後等デイサービス

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	事業所内のスペースは十分確保されており、ご利用者様同士、ゆとりを持って過ごすことができている。	事業所の中はとても広く感じる。	事業所の広さを活かし、今後も十分なスペースを保ち安全に過ごすことができるようにしていく。
	2 職員の適切な配置	体育教師・幼稚園教諭・特別支援学校教諭等の指導員に加え理学療法士と、学習教室に適した配置を行っている。	いつも良く見てくださっている。	今後も継続した上で適切な配置が行えるようにしていく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	・事業所内はワンフロアとなっており移動しやすい造りになっている。 ・学習スペースと余暇スペースをしっかりと分けることでご利用者様に分かりやすい構造になっている。	部屋の中は広く感じるが、設備のことは良くわからない。	・今後も継続した上でご利用者様の特性に応じた設備が整えられるようにしていく。 ・希望に応じて保護者様に事業所見学を実施していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	・サービス終了後の清掃を必ず行っている。 ・机、椅子、玩具等の除菌に加え空間除菌も行い感染対策をしている。	部屋が広いので快適に過ごせていると思う	毎日の清掃・除菌を徹底し快適に過ごせるようにしていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	日々のミーティングの中で指導員には参画してもらっている。	/	今後も継続して行い業務改善が進められるようにしていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現段階では実施できていない。		評価機関等を利用し、業務改善を実施できるようにしていく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	動画や教材等を使用して事業所内での研修を行っている。		引き続き事業所内での研修をしていく。業務に支障の無い程度で専門機関での受講を進めていきたい。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	・会議の場を設けケアカンファレンス、モニタリング後、計画を作成している。 ・計画更新時には必ず保護者様にヒアリングを行い、ニーズに沿った計画を作成している。	・毎回計画を頂く前にアンケートを書いている ・適切に選択されている	今後も継続して行いより良いアセスメントができるようにしていく。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	ご利用者様の特性やニーズに応じ、項目ごとに個別支援、集団支援を分けて計画を作成している。		今後も継続し、ご利用者様に適した計画を作成していく。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	ご利用者様の特性、保護者様のニーズに応じて課題を設定し、適切な支援方法を記載している。		引き続き、ご利用者様の特性やニーズに応じた課題を設定し、適切な支援方法を記載していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画作成後は必ず指導員に周知し、支援内容や支援の方法を共有している。	適切に選択されていると思う。	計画作成後は指導員間で必ず支援内容を共有し、適切な支援を実施していく。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	定期的に会議を行い活動プログラムを立案し、計画を立てている。		今後もチーム全体で活動プログラムの計画が進められるようにしていく。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学習に休日は活動に重きを置いて支援を行っている。また長期休暇中は1日の予定を明確にし、ご利用者様がスムーズに行動できるようにしている。	毎週のイベントを楽しみにしている。	今後も平日や休日に合わせた取り組みを行い支援していく。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	会議の中で、ご利用者様の特性やニーズを考慮しながら毎月の活動を決定している。楽しんで参加することが出来る取り組みになるよう工夫している。		充実した活動プログラムになるよう今後も工夫していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	支援開始前に職員間でのミーティングを行っている。申し送り・連絡事項を確認した上で、過去の支援内容から気になることをあげ、その日の支援方法を決定している。		当日のミーティングをしっかりと行いより良い支援が出来るようにしていく。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後は振り返りをし、ご利用者様の様子を共有し合っている。支援内容に問題があれば、支援開始前のミーティングに繋げ、支援方法の改善を行っている。		支援の振り返りを行い問題等があれば改善する。適切な支援が出来るようにしていく。
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援終了後には、指導員間で共有した内容を支援提供記録に記述している。行動上に問題があった場合や体調不良時は、より細かい内容を記録し、今後の支援に繋げている。		日々の記録が正確に行えるよう今後も引き続き取り組んでいく。
11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的にモニタリングを行い、保護者様からのヒアリング後、ケアカンファレンス→評価→計画見直しを行っている。		モニタリングや評価をしっかりと行いご利用者様の特性に適した計画を作成していく。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	ご利用者様の状況を理解している児発管が担当している。	今後も継続して担当し、サービス担当者会議に参画できるようにしていく。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象となるご利用者様がいない。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象となるご利用者様がいない。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	園や学校からの要望により対応している。在籍している方の学校の先生とは電話や学校迎えの際に支援内容を共有している。	学校と事業所間での支援内容の共有は引き続き行い、今後の支援に繋げていく。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	対象となるご利用者様がいない。		
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修の機会があれば受講しているが、業務に支障が出ない程度で参加を促している。	機会があれば受講を促進し、支援が向上するようにしていく。	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現段階では行っていない。	今は特にコロナ禍なので難しいと思う。	希望があれば前向きに検討していく。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	現段階では行っていない。防犯・安全面での懸念がある。	今は特にコロナ禍なので難しいと思う。	希望があれば前向きに検討していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	利用者負担については契約の際にお話している。支援の内容については電話や送迎時にお話している。	説明してくださっている。	今後も丁寧な説明を心がけていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	モニタリング、計画見直しの際は送迎時や電話での説明を行っている。	計画を頂くときにお話してもらっている。	今後も丁寧な説明を心がけていく。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	定期的には行っていないが、保護者様からの希望により行っている。	家族支援プログラムがあるのかよく分からない。	保護者様からの希望があれば実施していく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時や連絡帳を通してご利用者様の様子を共有している。	帰りの送迎のときにお話できている。	ご利用者様の状況や課題については引き続き共通理解していき、支援に繋げていく。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	定期的には行っていないが、保護者様の希望があった場合や、ご利用者様の様子・状況に応じて面談を行っている。	面談したことはない。	保護者様からの希望があれば実施していく。ご利用者様の状況に応じて機会を設ける。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	現段階では実施していない。	・参加したことがない ・そのような会があるのかよく分からない。	保護者様からの希望があれば実施していく。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	しっかりと状況を把握した上で対応を行っている。早急な対応を心がけている。	よく分からない。	引き続き迅速かつ適切な対応が出来るようにしていく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	ご利用者様の特性に配慮しながら連絡帳や送迎時にお伝えするようにしている。	できていると思う。	ご利用者様の特性に配慮しながら保護者様に情報伝達ができるよう取り組んでいく。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・毎月の通信と活動予定を配付している。 ・SNSやブログ等で活動の様子を発信している。	毎月、通信やイベントの予定を頂いている。	引き続き通信やSNSを通して活動の様子を発信していく。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	SNSやブログ等で発信する場合は個人が特定されないようにしている。	よく分からない。	今後も個人情報の取り扱いには十分気をつけていく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	マニュアルを策定し、職員に周知している。	マニュアルがあるのかよく分からない。	今後は保護者への周知を行っていく。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	年に2回、災害を想定した避難訓練を行っている。	以前、避難訓練のイベントに参加したことがある。	引き続き避難訓練を行い、非常災害に備えておく。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	虐待防止マニュアルに基づき、事業所内での研修を行っている。		虐待に関する研修を定期的に行い、支援の向上を図る。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	契約時に必ず説明をしており、ご利用者様の身体に危険な場合においては行っている。必要な場合は必ず保護者に許可を得ている。		保護者には必ず同意を得ているが、そのような事例がある場合においては、適切な対応をするようにし、丁寧な説明を心がける。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	対象となるご利用者様がいない。		今後対象となるご利用者様がいる場合は、適切な対応が出来るよう共通理解を図る。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例を作成後、必ず指導員間で共有し、怪我や事故を未然に防ぐようにしている。		今後も引き続き事例の作成・共有を行い、事故や怪我の無いようにしていく。